

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 2022/04/18号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



### 【ゴールドマーケットの現状】

## 円建てゴールド8000円超え歴史的な高値更新

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



毎週、驚きの速さで円建てゴールドが上昇していきます。先週、「金曜日につけた7796円は先週つけた歴史的な高値7732円をまた大きく更新、7800円が目の前になりました。今年は8000円も十分あり得ると以前に書きましたが、逆に8000円では止まりそうにないような雰囲気になってきました。」と書きましたが、今年は、どころか、翌週にはあっという間に8000円に達してしまいました。この週末はEaster Holidayで金曜日は実質的にほぼ世界中が休みでしたが、水曜日には8024円をつけ、金曜日はゴールドは世界はお休みでしたが、円安がさらに126円台半ばまで東京市場で進んだために、木曜日のドル建てゴールドの終わり値で計算すると8040円まで上昇したことになります。ドル建てゴールドの堅調ぶりはやはりインフレがその根源にあります。このインフレ率の高さ8%越えを考えると、たとえ今月もまたFRBが0.5%の利上げをしたとしても、インフレを抑えるのには全然足りない、とマーケットは見ていると考えられます。それ故に少々長期金利が上昇してもゴールドが目立って下がらないということなのでしょう。以前にも書きましたが、1982年、40年前、CPIが8%まで上昇したときのレーガン大統領の時代の金利は14~15%ありました。現在はまだ0.5%です。インフレ対応策としては全く足りないのは明らかであり、FRBの金利上げが、今予想されているペースでは全くもって火消しには足りない（インフレを抑えることはできない）ということで、このくらいの金利上げはゴールドは無視しており、逆にインフレヘッジとしての買いで価格が上がっていると考えられると思います。インフレの勢いそして円安へのあまりにはっきりしたトレンドという状況下ではゴールドが8000円で止まるとは思えません。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

## 【マーケット・トピック】

## ゴールド以外の貴金属-シルバー 2

## 「シルバーの物質的特徴」

前回はその物質的な特徴としては、電気伝導率、熱伝導率、そして可視光線の反射率が金属中最大。そして延展性はゴールドに次いで2番目であり、1gのシルバーを2200mに伸ばすことができます。（ちなみに最も伸びるゴールドは3000m）こういった性質を利用してシルバーはいろいろな工業用材料に使われており、貴金属のなかではけた違いに安価であることも手伝って、その需要の約半分は工業用の材料としての需要です。ゴールドはそれが10%にも満たないことを考えると、シルバーは工業用のメタルだと言えるでしょう。

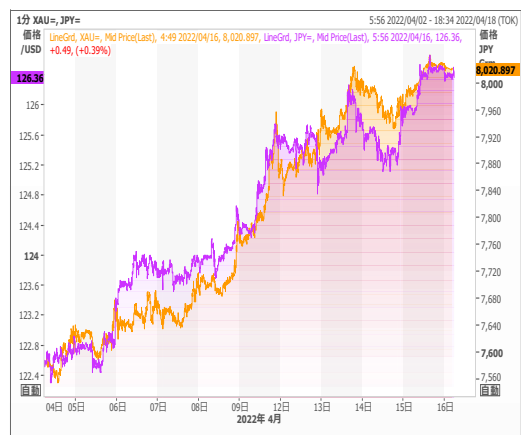
数十年前まではシルバーはその光に対する反応を利用して感光材としての用途が最大のものでした。感光材とは要するに写真の「フィルム」のことです。銀塩フィルムという言葉があるように、写真のフィルムはシルバーを利用したものでした。そしてデジタルカメラの登場が、このシルバーの需要に大きな変革をもたらしました。デジタルカメラは瞬く間に銀塩フィルムに置き換わり、現在ではカメラそのものがスマホに吸収されつつあります。フィルムの需要は、まだ医学レントゲンや映画用のフィルムでの利用は残っていますが、その全体量は激減しました。デジタルカメラ以前は、世界でのシルバーユーザーの最大手はコダックや富士フィルムと言ったフィルムメーカーでした。このデジタルカメラにより、シルバーの需要は激減し、その価格が大きく下がるといった見方もありましたが、しかし、捨てる神あれば拾う神ありで、現在ではシルバーの需要の最大分野は太陽光発電のソーラーパネルになっています。これもまた光に対するシルバーの特性を生かした、そして現在の世界にあった利用法だと言えるでしょう。これもまた光に対するシルバーの特性を生かした、そして現在の世界にあった利用法です。脱炭素の世界的流れに、化石燃料から再生可能エネルギーへと動きの主流にあるのがこの太陽光発電であり、その需要は毎年13~14%の割合で伸びています。環境問題や脱炭素の詳しい話は、次回からの「シルバーの需要と供給」で解説しましょう。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

